

諏訪湖だより

クリーンレイク諏訪版



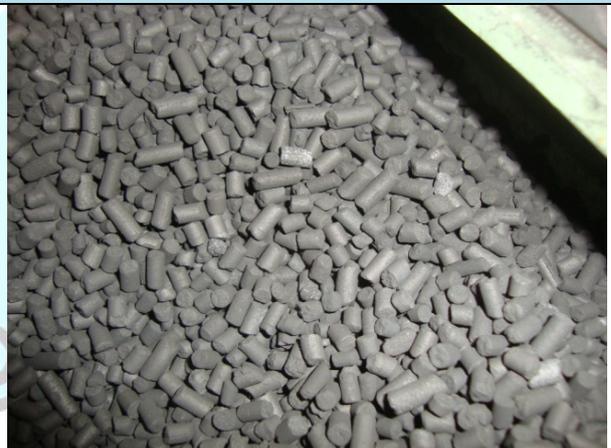
第12号 (H27.8月発行)

今月のトピックス

脱臭設備の活性炭交換を行いました。

豊田終末処理場では、処理設備で発生するにおいを外に逃がさないようにするため、脱臭設備が数多く設置されています。

活性炭脱臭設備もそのひとつで、においの元となる様々な物質を吸着するという、活性炭の機能を利用した脱臭設備です。活性炭を電子顕微鏡などで見ると、表面にたくさんの孔があることが分かります。この孔がにおいの元となる物質をしっかりキャッチしてくれます。冷蔵庫や車の脱臭剤にも、活性炭を利用したものがあります。さらに、処理場などで使われる活性炭には、アルカリ性のにおい物質（アンモニア等）を吸着しやすいように加工したものや、酸性物質（硫化水素等）を吸着しやすくしたものなど、ガスの種類の性状にあわせて様々なものがあります。



豊田終末処理場の活性炭脱臭設備は、酸性ガス用、アルカリ性ガス用、中性ガス用の順に接触できるようになっており、様々なにおい物質をしっかりキャッチできるように設計されています。

活性炭は、におい物質を吸着することで脱臭するので、長く使っていると劣化してしまいます。そこで定期的に脱臭設備の活性炭を入れ替えることによって、脱臭効果を維持しています。

豊田終末処理場では、8月に沈砂池の脱臭設備の活性炭の入れ替えを行いました。取り出された活性炭は再生工場へ運ばれ、再び脱臭効果を発揮できるよう再生処理され、またどこかの脱臭設備で、おいをとるために活用されます。

